

## CBAP®合格体験記

IIBA 日本支部コミュニケーション担当理事

IT コーディネータ 庄司敏浩

CBAP®を今後受験される方の参考になればと思い、合格体験記を書かせていただきます。CBAP®試験に合格するまでには、4つの関門があったと思います。この4つの関門に沿って話を進めさせていただきます。

### 1. 受験申込み前

CBAP®試験を受験するためには、過去10年間にBAとしての業務経験が7,500時間と、BAに関する教育実績が21時間必要です。ITコーディネータという仕事柄、BAに相当する業務経験の方はクリアできそうでしたが、21時間の教育実績を得ることがたいへんでした。IIBA本部が提供するWebinarの受講により教育実績を得ることができますが、1時間ずつしか実績を得ることができないので、はるか長い道のりです。また、BA関連の教育で休日に開催しているようなものも見あたらなかったため、平日に適切なコースを選んで受講するしかありませんでした。業務の都合で日程の合うコースがなかなかなかったため、受験申込みができるようになるまでに、かなり日数が経過してしまいました。最終的には、IIBA日本支部のEEPとなってくださっている教育会社の研修実績を得ることができ、21時間をクリアできました。

合わせてCBAP®試験対策の学習も行いました。これは、アマゾンで販売されている英語の市販本を購入して、自己学習を図りました。あまり種類がなかったのですが、それらしい本を2冊購入しました。1冊は第何版対応が明確に書かれていなかったため半分賭けだったのですが、実際に届いてみると第2版対応ではなかったようでしたので、これは使わずに、1冊の本で試験対策の学習を行いました。内容的にはBABOK®の内容を忠実に整理したものでしたので、テキストとしては少しは整理に役立ちましたが、BABOK®そのものを読んでもそれほど変わらないと思い、BABOK®の熟読にも力を入れました。試験対策本の一つの価値は練習問題がついていることです。何度か同じ問題を解き、問題を解く感覚を養いました。ただし、試験対策本の練習問題は易しすぎて、本試験のレベルではなかったと感じています。その試験対策本は、比較的BABOK®の知識をそのまま問うような問題が多かったのですが、実際の試験は、BABOK®に書かれているタスクやテクニックの意義や応用の仕方を問うような問題が多かったと感じました。また、この本にはいくつか誤りの箇所があり、この本だけで試験対策を行うのは少し危険かとも感じました。私はBABOK®の熟読も並行して行っていたためBABOK®と見比べて誤りの箇所に気が付くことができたのですが、この本だけで試験対策をすると誤ったことを覚えかねない危険性があります。

### 2. 受験申込み

受験資格が整うと、次は受験申込みになります。紙に書いて郵送する方法とオンラインで入力する方法とがありましたが、迷わずオンライン申請を選択しました。実際に入力してみると、けっこう時間がかかりました。特に業務経験を記述する箇所は、1件ずつ入力しなければならず、7,500時間の業務経験を入れると、かなりの案件に対して入力が必要となってきます。個々の案件に対してどのような業務実績があるのかについては、選択肢にチェックをつけるようになっていきます。伊藤さんの合格体験記で、BAの活動には該当しないものも選択肢に含まれており、そこにチェックするとその分の時間がBAとしての業務実績から差し引かれると聞いていたので、まずは各項目についてBAに該当するものと該当しないものを整理したうえで、入力を開始しました。また、本当に業務実績があるのかを確認できるようなお客様又は上司のコンタクト先をそれぞれ記入しなければなりません。10年にもわたる実績を書くと、すでに倒産し連絡が取れないところもあります。そこで、本部にメールで確認したところ、お客様や上司であることが望ましいが、一緒に仕事をした人など、何らかの形で当該業務を実施したことを知っている人の名前を載せてくれ、と指示されました。そこで、いちおう証明してくれそうな人の名前を入れました。名前を載せた方には、すべてメールで事情を伝えて、確認のメールが来たら返信していただくようお願いしました。

また、2名の推薦者も載せなければならないのですが、これは現在私が仕事でかかわっているお客様をお願いしました。ただ、一般の日本人には英文メールは鬼門のようで、どちらもスパムメール扱いになってしまったようでした。1週間くらい経っても進展がなかったため確認したところ、1名はスパムメールのフォルダーからすくい上げていただきました。もう1名は行方不明ということで、再度処理を行いました。このやり方も本部にメールで確認したのですが、メールの再送はできないので、いったん削除してから再登録してくれ、とのことでした。

受験料は、**International Monetary Order**で払うよう指示がありました。何のことか分からなかったのですが、インターネットで調べると、郵便局が発行する国際郵便為替がこれにあたるということです。郵便局でドル建ての国際郵便為替を購入して、エアメールで送りました。そのうち、クレジットカードが使えるようになるのですが、このような送金を行ったのは初めての経験でした。

### 3. 受験当日

そして、受験当日、遅れたら試験が受けられないようなことが書いてありましたので、30分前に会場のテンプル大学に到着しました。しかし、受付には誰もおらず、しばらく経って人が来たので、手続きをお願いしたら、CBAP®って何？というような顔で話を通じず、ちょっと待てとしばし待たされ、名前を確認された上で、ようやく認知されました。会場の部屋番号を教えられましたが、部屋番号だけ教えられても場所が分からないので、どちらだと聞いたら、あっちだと指さしたので、そちらの方角に行くと、いくら探しても該当

の部屋が見あたりません。そこで、大学の事務室らしきところで聞いて見ると、反対の方向であることが分かりました。そこで、そちらに行ってみると、その部屋が a と b に分かれており、一つは救護室らしき部屋、もう一つは **staff only** と書いてありました。部屋番号が正しいのか不審に思い、試験の受付に再度戻りました。そこで、試験官の人について部屋に向かいました。該当の部屋は **staff only** と書いてある部屋でした。

そこはまさにスタッフルームという感じの雑然とした狭い部屋で、机が一つ置いてあり、その上にノート PC が置かれていました。これを使って試験をすることでした。しかし、その部屋で試験を行うことは周囲には周知されていないようで、部屋の扉に試験中なので静かにするように注意するような注意書きを貼るなどの、配慮はなされておらず、隣の教室では講義をしており、その講義の音が試験中ずっと響いていました。休憩時間には学生のおしゃべりをする声がよく聞こえ、とても集中して試験にとりかかれるような環境ではありませんでした。試験中に間違っ部屋に入ってくる人もいたくらいです。1 回目の合格者の伊藤さんも 1 度サーバダウンが発生したと書いていましたが、私のときにも 2 度のサーバダウンが発生しました。その場にいる人では対応できずに、サポートの人を呼んで、再立ち上げをして、ということをして 2 度繰り返しました。その間待たされることになりました。当日は飲み物の持ち込み禁止と注意書きに書かれていたので、何も飲み物もなく、3 時間 30 分の試験時間+障害対応の時間も含めると、合計 4 時間程度、このような騒がしい環境で一滴も水分を取ることもできずに閉じ込められるのは、きつかったです。あまりにうるさくて集中できないので、両耳を指でふさいで対応していたら、試験がほぼ終わるころ、このような状況に気が付いたのか、耳栓を貸してくれました。

このような状況で集中力も発揮できず、割合的には 2 問分ほど得点が足りずに不合格となりました。

#### 4. 再受験

1 度不合格になると、3 ヶ月経過しなければ受験することができません。これは、3 ヶ月後に受験できるということではなく、3 ヶ月後に手続を開始してくれるということです。再度試験センター側から受験日程の調整が入ります。だいたい 1 週間後くらいから選択可能になっていました。

前回の試験後に、受験環境があまりにひどかったので本部に改善をお願いしてあったのですが、授業がある日に受けると前回同様のことが起こるかもしれないと思い、念のため日曜日を狙って受けることにしました。

今回は休日なので、裏口から入館することになりましたが、通された部屋は大きな部屋でした。静かな環境の中で一人で試験に没頭することができました。念のため、最初に耳栓を貸して下さるよう申し出、貸していただきました。また、水は途中で飲むことができないのかを尋ねたところ、かまわないとのことだったので、水を持ち込みました。

静かな環境で冷静に試験を行えば、さほど難しいとは感じませんでした。余裕をもって

150問終わることができ、見直しもすることができました。サブミットすると、合格の表示が出て、ほっとしました。

問題は多くは数行程度の問題ですが、20行程度の事例的な問題も若干ありました。冷静に解いていけば大丈夫でしょう。日本人的に若干難しいと感じたのは、基礎コンピテンシの部分です。特に行動特性の倫理に関わることなどは、文化的な考え方の背景もあるので、アメリカでの倫理に関する考え方を理解しておく必要があると感じました。タスクに関わる問題は、それぞれのタスクやテクニックについて、その目的や意義も含めて **BABOK®**に記載されていることをきちんと理解していれば、合格できると思います。

<今後受験される方へ>

1. 早めに試験会場に行っても受付前で待たされるだけですから、15分前に行けば十分でしょう。
2. 耳栓を借りることができますから、念のため始めに借りておいた方がいいかもしれません。
3. 水の持ち込みはかまわないようです。何も飲まずにいると集中力も落ちますので、水は持ち込んで、途中で水を飲みながら休憩するとよいと思います。
4. 問題にフラグをつけ、後でフラグのところに戻ることができます。分からない問題はフラグをつけて、先の問題に進み、後でフラグをつけた問題に戻って解くとよいと思います。